

日本学術会議情報学委員会環境知能分科会（第24期・第1回）議事録

日時 平成30年1月11日（木）11:00～12:00

会場 日本学術会議 6階6-C(2)(3)会議室

出席者（敬称略、以下同様）： 萩田、美濃、相澤、西田、石塚、河原、喜多、木村、黒橋、田中、永井、長田、灘本、橋本、長谷山、平田、藤代、間瀬、安信、横尾、渡邊、以上21名（委員28名中21名出席）

オブザーバ： 土井美和子、後藤真孝、以上2名#

欠席者： 荒川、石田、内田、大柴、大場、加藤、馬場口、以上7名

議事

1. 分科会委員の紹介

- ・ 欠席の荒川委員（世話人）に代わって、長谷山委員が代理司会

2. 分科会役員の互選

- ・ 互選により、萩田委員が委員長に選出された。（以後、司会交代）
- ・ 萩田委員長より、副委員長には土井連携会員（幹事会で環境知能分科会の委員承認の後に正式委員に）、幹事には橋本委員と西田委員が指名され、各委員が同意した。

3. 第24期の分科会の活動について

- ・ 萩田委員長、土井副委員長より、分科会の主旨について提案があった。
 - ・ 高齢者のため、学生のためのコミュニケーション促進ではなく、多世代間のコミュニケーションを促進する「Centenarian Society（多世代間コミュニケーション促進社会）」における環境知能都市計画構想をまとめ上げる。
 - ・ この提案をベースに、検討すべき問題について意見交換を行った。
- ・ 多岐にわたるテーマを議論するために以下の点が議論された。
 - ・ 24期のたとえば2019年4月までに提言等をまとめることを目標に、提言の骨子、テーマ分担、ロードマップを固めていく。
 - ・ 全委員が参加する分科会のほか、ネットミーティングで遠隔参加や会議中に同時にSlackなどを利用して議論の活性化を進める
 - ・ 狙うテーマに関してシンポジウムを開催して、産業界を含めた外部から意見を広く収集する。
- ・ 今後の予定は、4-5月に第2回分科会開催、8-9月頃にシンポジウム開催、12-1月に第3回分科会開催。日程は幹事が委員と調整。数ヶ月前に事務局に連絡。特に、シンポジウムと併催して分科会を開く場合は6ヶ月前など余裕を持って幹事会に諮り、事務局と調整要。

#補足：オブザーバ参加の2名の連携会員は、平成29年1月および2月の幹事会にて、本分科会の委員になることが承認された。